令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立南港桜小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区　　名	住之江区
学　校　名	大阪市立南港桜小学校
学 校 長 名	髙岡　繁樹

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和８年４月に、６年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

１　調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２　調査内容

(1)　教科に関する調査

・国語

・算数

(2)　質問調査

・児童に対する調査

・学校に対する調査

３　調査の対象

・国・公・私立学校の小学校第６学年の原則として全児童

・大阪市立南港桜小学校では、第６学年　68名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立南港桜小学校の結果概要

・全国平均と本校との平均正答率、平均無解答率のポイント差は、以下のとおりであった。
　　〇国語　平均正答率・・・　＋0.1　　平均無解答率・・・+0.5
　　〇算数　平均正答率・・・　＋2.6　　平均無解答率・・・+1.1
・平均正答率は、二教科とも全国平均を上回った。国語では0.1ポイント、算数が2.6ポイント上回ることができた。
特に、算数科では昨年度よりも全国平均との差が大きくなり、着実に力を伸ばしている。反面、平均無回答率は国語、算数ともに全国平均を上回る結果であった。昨年度は両教科とも下回っていたことより、あきらめずに粘り強く問題に取り組む姿勢が、今年度の課題のひとつであると考える。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】記述式・思考表現力の高さが本校の大きな強みであると考える。設問2の四：情報の抜き出しと自分の考えのまとめる記述式の問題における正答率が全国平均より9.1ポイント高い結果であった。また設問3のニ：メモの整理の説明選択では10.6ポイント、設問1の一：構成メモの工夫選択では7.0ポイント全国平均を上回った。課題としては、語彙などの基礎的・基本的な知識の定着が考えられる。設問三のイ：漢字の書き取り「不思議」の問題では全国平均を18.7ポイント下回る結果であった。漢字の正確な定着が必要である。
【算数】算数においても記述式・思考表現力の高さが成果として見られる。設問3の(3)：分数の大小判断と理由の説明における記述式の問題では、全国平均を14.2ポイント上回る結果であった。同様に設問1の(4)：直方体の送料の求め方と答えや設問4の(1)：二つの表から集計誤りの根拠の記述においても、それぞれ全国平均を10.0ポイント、8.5ポイント上回った。しかし、設問4の(2)：計画から前半で使える時間を算出ことにおいて全国平均を36.8ポイント下回っている。また、設問2の(3)：混み具合の式の意味選択の問題でも10.7ポイント全国平均を下回るなど、複数条件の処理や割合や単位量あたりの概念の定着が本校の課題として考えられる。

質問調査より

特徴として、「先生は自分のよいところを認めてくれている」に肯定的（当てはまる）と答えた児童が69.0%(全国53.4%)、「困りごとや不安がある時にいつでも相談できる」も57.7%（全国33.9%）と全国平均を大幅に超えていることから、児童が教職員に対して強い親近感と信頼を抱いており、不安や悩みを一人で抱え込まずに相談できる温かい安心感と指導体制が学校全体に浸透していると考える。また、「学級で人と違う意見を言っても否定されないと思う」に「当てはまる」と回答した児童が60.6%（全国39.6%）と20ポイント以上高く、「自分と違う意見について考えるのは楽しい」も39.4%（全国31.9%）と高い数値を示していることから、互いに尊重し合い、失敗や他者との意見の違いを恐れずに自分の思いを安心して表現・共有できる良好な人間関係と学級風土がある。
　学校図書館を利用しないと回答した児童の割合が36.6%(全国26.1%)、新聞をほとんど・まったく読まないと回答した児童の割合が80.3%(全国77.9%)という結果から、活字媒体および図書館の利用頻度の低さが課題としてあげられる。

今後の取組（アクションプラン）

1. 語彙・漢字および算数「変化と関係」における基礎概念の定着
　国語の漢字書き取りや語彙などの知識面や、算数の割合・単位量あたりといった概念理解に課題が見られる。朝学習や日常的な小テストでの丁寧な反復・定着指導を徹底するとともに、算数では図や数直線を用いた視覚的な理解を深め、一人一人の確実な基礎学力の定着と活用力の向上を図る。

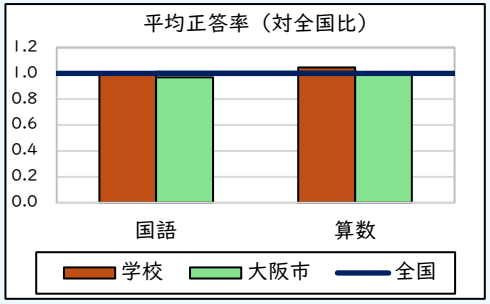
2. 複雑な条件整理力の向上と記述問題における無解答率の低減
　国語・算数ともに思考・表現力に強みを持つ一方、複数の条件が絡む問題や長文記述問題での無解答率の高さが課題である。問題文から条件を箇条書き等で整理する習慣化を図るとともに、「まずは一文から書く」アタックルールを全校で徹底し、書くことへの心理的ハードルを下げて途中点・部分点を狙う指導を推進する。

3. ICT活用と紙媒体・読書習慣の融合による学びの深化
　児童はICT端末での情報整理やプレゼン作成に高い自信を持つ反面、図書室の利用率や読書習慣に課題が見られる。探究学習においてICTによるスライド作成と学校図書館での調べ学習を一体化させ、情報収集・思考の幅を広げるとともに、日常的な読書活動の推進により豊かな語彙力と思考力を育む。

令和８年度　全国学力・学習状況調査　教科に関する調査結果の概要

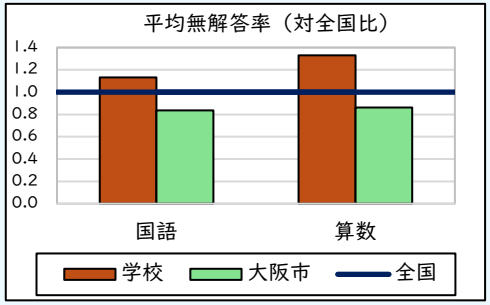
平均正答率（%）

	国語	算数
学校	61	59
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



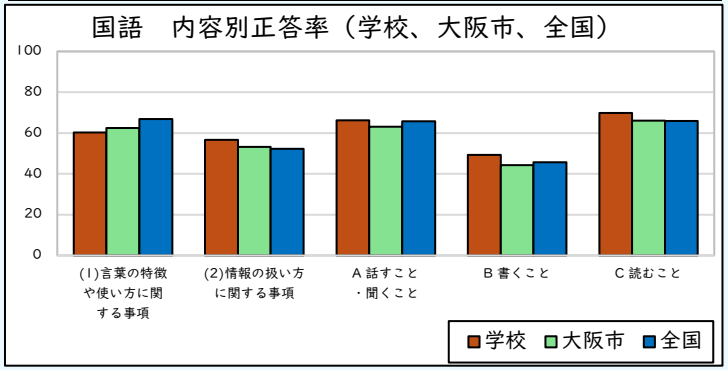
平均無解答率（%）

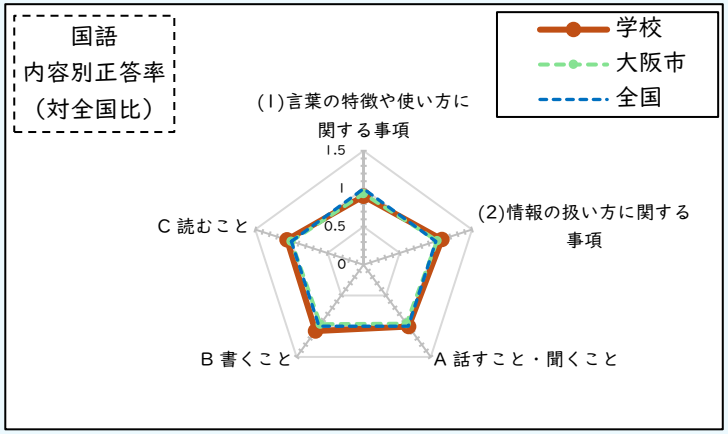
	国語	算数
学校	3.9	4.3
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



【国語】内容別正答率

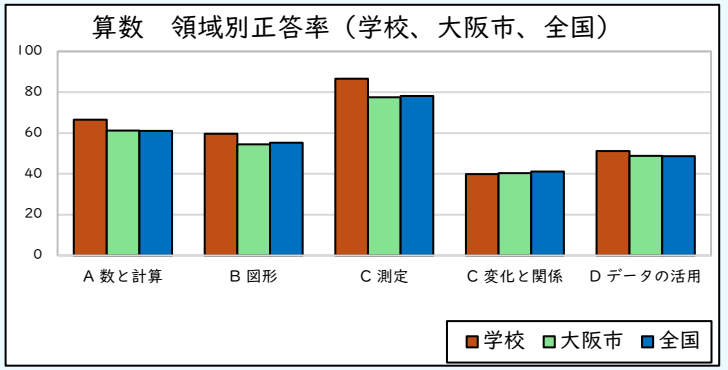
学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	60.3	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に関する事項	2	56.6	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	－	－	－
A 話すこと・聞くこと	3	66.2	63.1	65.8
B 書くこと	2	49.3	44.2	45.7
C 読むこと	2	69.9	66.0	65.9

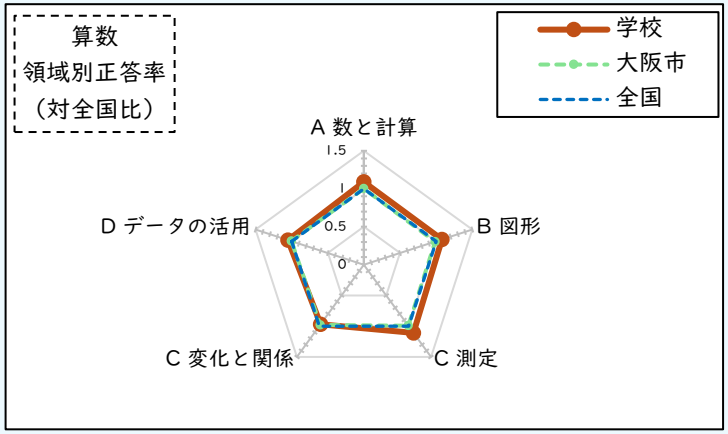




【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	66.6	61.2	61.1
B 図形	4	59.7	54.5	55.3
C 測定	1	86.6	77.5	78.1
C 変化と関係	3	39.8	40.3	41.1
D データの活用	4	51.1	48.8	48.6

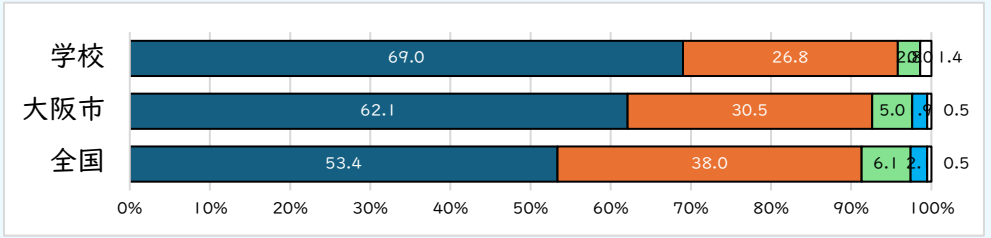




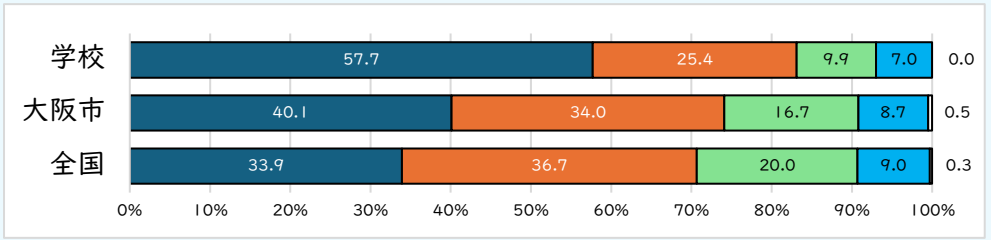
令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より（１）

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

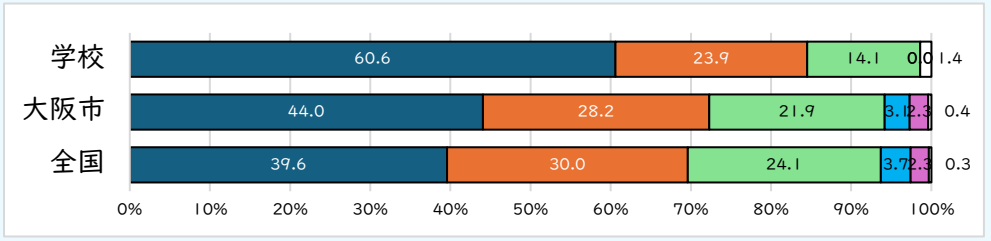
質問番号	質問事項
（９）	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
（１３）	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
（２０）	あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか
（１６）	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
（３６－３）	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか



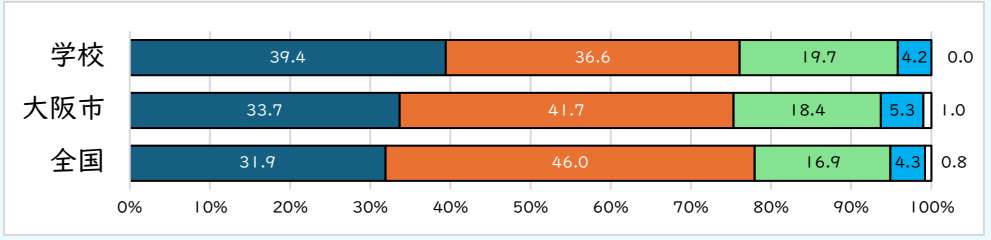
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



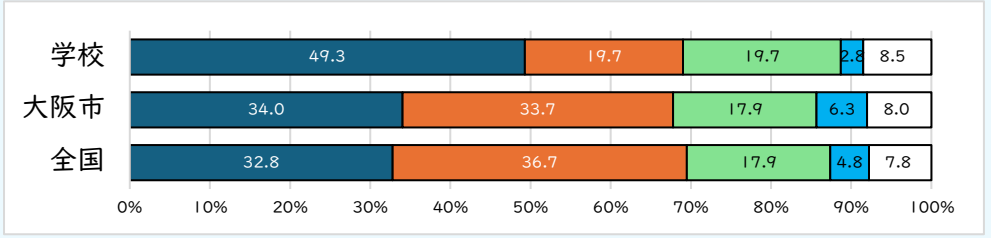
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらともいえない
4 どちらかといえば、当てはまらない
5 当てはまらない



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

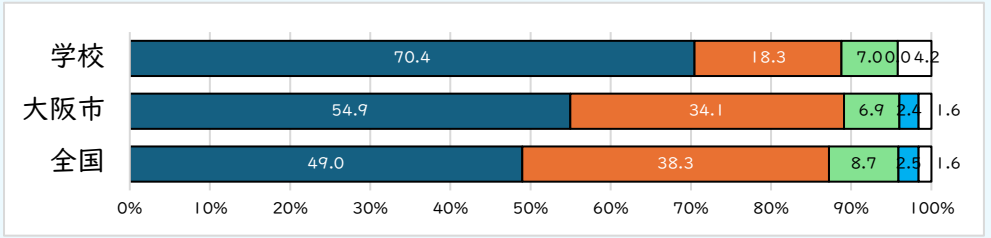


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

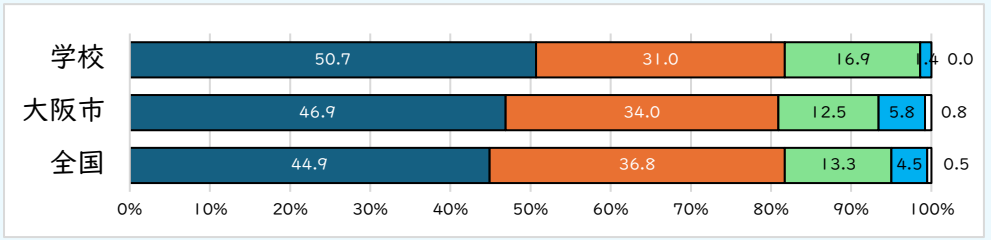
令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より（２）

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

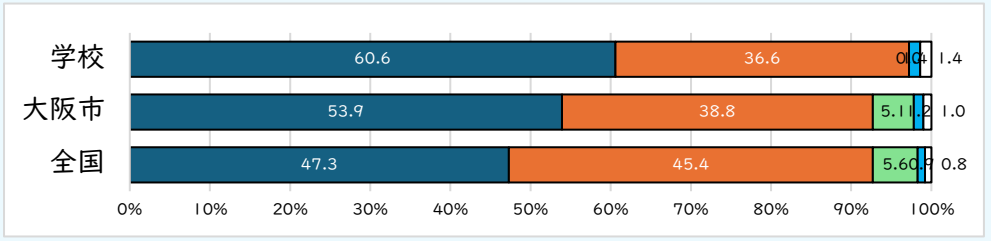
質問番号	質問事項
（４５）	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか
（６５）	５年生までに受けた授業では、算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えましたか
（１１）	人が困っているときは、進んで助けていますか
（３０）	新聞をどれくらい読んでいますか
（２７）	昼休みや放課後に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室（電子図書館を含む）にどれくらい行きますか



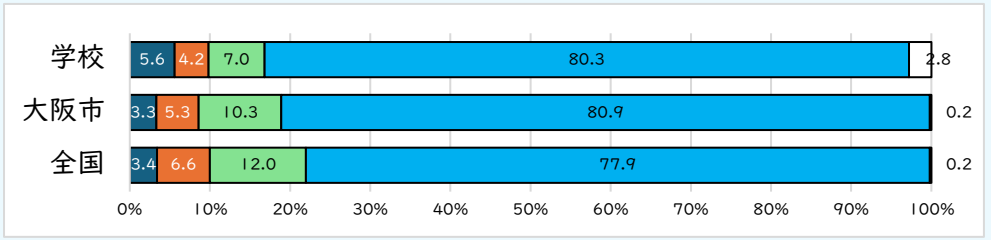
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



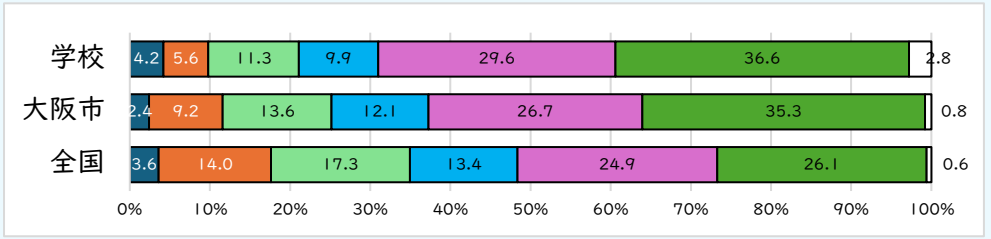
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



1 ほぼ毎日読んでいる
2 週に１～３回程度読んでいる
3 月に１～３回程度読んでいる
4 ほとんど、または、全く読まない



1 だいたい週に４回以上行く
2 週に１～３回程度行く
3 月に１～３回程度行く
4 年に数回程度行く
5 ほとんど行かない
6 全く行かない

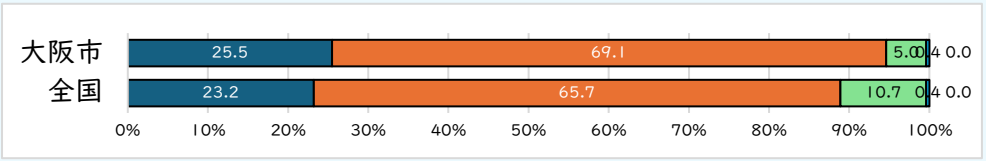
令和８年度全国学力・学習状況調査　学校質問調査より

1 2 3 4 5 6 7 その他・無回答

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

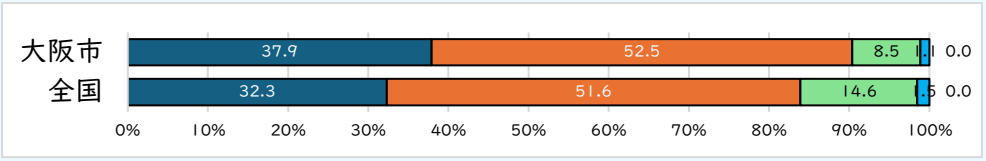
質問番号	質問事項
（7）	調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか
（8）	調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか
（33）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか
（13）	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童が相談したい時に相談できる体制となっていますか
（82）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習について、児童が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか

【学校の回答】　1　そう思う



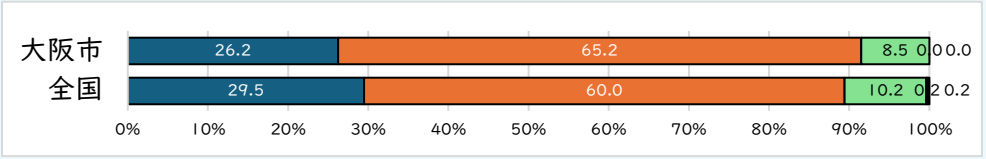
1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

【学校の回答】　1　そう思う



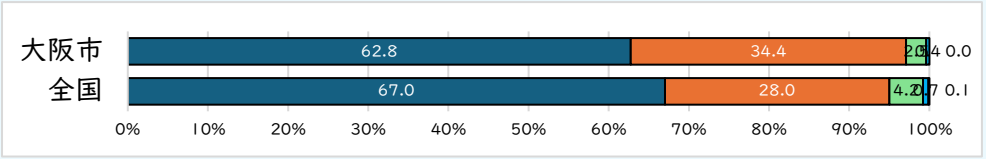
1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

【学校の回答】　1　よく行った



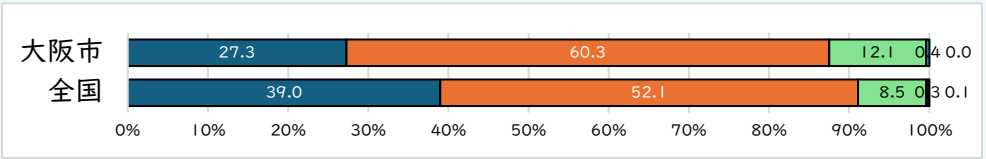
1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

【学校の回答】　1　そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

【学校の回答】　2　どちらかといえば,行った



1 よく行った
2 どちらかといえば,行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった